

いのちの言の葉2012

富山県教育委員会平成24年度いのちの教育総合支援事業

「誠実に カいっぱい生きる」

射水市立放生津小学校

平成24年11月15日実施

【授業の概要】

- 1 サウンドテーブルテニスの体験
- 2 いのちの先生の話

今日、塘添さんに命の授業としてサウンドテーブルテニスを教えてもらいました。塘添さんは目の不自由な方で、音を聞いて卓球をされます。それがとてもうまいのです。

↑
(母より)〇〇は、幼い時はケガをよくしていましたね。だけど、身体に不自由なく育ってきたことは、本当に幸せだと思います。自分だけの命だと思わず、家族や友達みんなが〇〇のことを大切に思っています。これからも自分の命を大切にしてください。



【いのちの先生】

塘添 誠次先生

・県視聴覚障害者子協会理事

私は、今日、塘添さんのお話を聞いて、命の大切さをあらためて分かりました。自分にとっても幸せだということや、いろいろなことが分かりました。これからも自分の命を大切にして、今、苦しんでいる人たちの分までがんばって生きていきたいです。

↑
(父より)〇〇は一人で生きているのではなく、いろいろな人に愛され支えられて毎日を過ごしているのだよ。それはすごく幸せなこと。でも、それに甘えたり満足したりするのではなく、感謝をしていろいろなことを一生懸命がんばるのだよ。そして周りの人を幸せにできる人になってね。

ぼくは、今日の勉強でいろいろなことをしました。そして、自分は何ができるか、何ができないかが、よく分かりました。相手が何か分からないようにしていたら、言葉をかけてあげると心に決めました。

↑
(母より)とてもいい勉強になりましたね。目の不自由な方以外にも困っている人が近くにいたら、何か手伝えることがないか自分なりに考えてみるといいですね。そして、動き出す勇気があるともっといいですね。相手の気持ちを考えて行動できたら、きっとカッコいい〇〇ちゃんになれるよ。